

胸躍らせて待っていた

その日は、

朝から、



2018年度

修学旅行

GRAPHT

実施 平成 30 年
5月 23 日 木曜日

下関市立 長府中学校 3年

雨
でした。

THE DAY 1
A PART

白く明けゆく朝、

傘の花 が咲き乱れる



雨にもかかわらず



長府城下町。



その、



続々と集まってくる姿は・・・

功山寺に集結した
勤王の志士のよう。
奇しくも、明治維新後 150 年。



全員集合を確認した後、新下関駅へバスで移動しました。

3日分の荷物と



雨具を手にしつつ、

生徒は、新下関



駅 構内に



再集結を始めました。



大移動を終え、

確認が終了し、

本日最初の PROGRAM がスタートしました。



出発式。



『待ちに待った修学旅行です。』

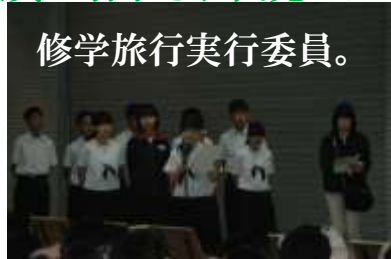
校長先生の言葉。



元気に、
よく学び、
よく楽しんできてください』

修学旅行。
それは、どんなことなのでしょう。
旅行なのか、
学習なのか。
どちらに比重を置くのでしょうか。

始まりは1882年、明治15年。
栃木県第一中学校の生徒が、
教員に引率され出発した事。



修学旅行実行委員。

旅の目的地は、
東京・上野。



学年主任のお話。



そこで開かれている
《第二回勸業博覧会》



を見学すること。
つまり、学習に旅行がついてきた姿。

では、**修**学旅行
という
呼び方。



ツアーコンダクター。
カメラマン。

いつ始まったのでしょうか？

公に記録として現れたのは.....



『大日本教育雑誌 54号』という本。
それは1887年4月20日発行。
長野県の師範学校の記事が初出です。

それから、
131年あまり。



移動開始。

数多の、



今も修学旅行はあります。



ワクワクと、ドキドキを伴って。



新下関駅のホームに整列。



あの練習の日々を、思い出します。

新幹線、
それは何でしょう？
どんなものにも、ルールがあります。



新幹線の場合は・・・



J R 500
WAIST
JAPAN

全国新幹線鉄道整備法。



それによると、

『その主たる区間を列車が 200 km毎時以上の高速度で走行できる
幹線鉄道』

と第二条に定義されています。

私たちが乗車を待っている時に現れた
新幹線を覚えているでしょうか？



STARSHIP.



デビュー当時、
そのスタイリッシュな外観から、
『まるで宇宙船』



と呼ばれた 500 系。

先端科学をゆく
それが新幹線。



そうコレが 500 系。



そして、
山口県にも、
関わりが
ありました。

ノーズ部分が山口製。

では、ちょっと 500 系の世界へ。

1996 年量産先行車。
1997 年～1998 年量産車。



併せて 144 両が製造されました。
山陽・東海道新幹線に
投入。



16 両編成を W。
8 両編成を V と呼びます。
共に全電動車。



交流 60HZ。25000V の電気方式をとり、
設計最高速度は 320 km/H。
最高運転速度は 300 km/H。
車体はアルミニウム合金・ハニカム構造。

『のぞみ』と呼ばれていたのです



1996年。
通産省の
グッドデザイン受賞。



これ以後、外観と
内装のデザインが



シングルアーム
パンタグラフ。
セミアクティブ
サスペンション。

より

美

しくなっていくのです。



尖った宇宙船のような外観。
それは、トンネル微圧波に対応すべく、
大気を切り裂く形状なのです。
先端車両は全長27m。その半分以上
15mにわたり、断面を徐々に縮めて、
ノーズ《先端》としたのです。
320km/Hの走行を前提として、
航空宇宙技術研究所での解析を元としたデザイン。



研ぎ澄まされた技術には美が宿る。まるで伝統工芸の世界。



どんなに素晴らしい物であっても、
経年変化。古くなります。

500 TYPE EVA。

2018年5月13日をもって運転を終了、
現在は別の CHARACTER のラッピングで走っています。



僕らの夢を乗せて、
今日も新幹線は走ります。



思いにふけっているうちに

駅に到着。



続